

令和5年度 自己評価 及び 施設関係者評価

令和6年 3月

認定こども園さら

- 「自己評価」：園の保育者が個々の自己評価を基につけた評価
- 「施設関係者評価」：保護者などによる評価委員がつけた評価
- 評価基準 A:十分に達成されている B:達成されている C:取り組みは行っているが、成果としては十分ではない

坂東 朋昭

領域	NO	評価項目	自己評価	自己評価についての園の説明	関係者評価	関係者評価について説明及び意見
組織運営	1	明確なリーダーシップのもと、保育者が生き生きと働いている。	C	取り組んではいるものの、達成とは言い切れない	B	保護者から見てそのほかの保育者が良さを生かして働いているように見える。自己評価で「達成」と言っているけれど、取り組みがそれ以上で達成に向けて頑張りたい
	2	働き方改革、ハラスメント、職務規律を意識して、職員の勤務態勢・意識の改革を図っている。	B	職業上なかなか難しい面もあるが、それなりに達成していると感じる	B	保育者の働き方の全てをカバーしている訳ではないが達成できていると感じている。
	3	事故やトラブルに対して、組織的、迅速に対応できる体制を整えている。	A	小さな事故やトラブルも全て主任及び園長に報告し、状況に応じて対応している	A	細かく園長をはじめとした全員の保育者へ対応していることでいいかなと思う
	4	子どもや園の実態を踏まえて教育目標を設定し、重点化された中・短期の目標が示されている。	B	年度到達目標を立てて、その目標に向かって短期及び中期の目標をたてながら、振りかえりながらすすめている	B	保護者に対しても毎月目標と取組を明確化している

領域	NO	評価項目	自己評価	自己評価についての園の説明	関係者評価	関係者評価について意見及び説明
組織運営	5	園の財務運営状況が適切に公開されている。	A	ホームページに掲載をし、いつも見られる状況にある	A	ホームページで適切に公表できている。
教育・保育	1	教育目標についての共通理解が図られ、実態を踏まえた中(長期)の目標を設定している。	B	教育目標についての共通理解は、完全とは言えないまま、目標の設定となっている	B	良好な共通理解は難しい面もあるが、日常の保育活動を振り返り、子ども一人一人の成長を促していると感じている。
	2	教育目標の具現化を目指し、教育課程を編成・実践・評価し教育活動の充実改善をはかっている。	C	教育活動の充実を目指しているものの、前項のとおり、共通理解がまだまだ十分でなく、改善の真っ最中にある	B	保護者には前項で述べた通り園の一人一人の成長を促していると思うが、園の評価を向上させるためにも、次年度改善に向けて具体的な取組を期待したい。
	3	日常的に振り返り、幼児理解に基づいて保育の改善に努めている。また、保育の記録が、次の保育に活かされ、保育計画に反映されている。	C	保育の記録により、振り返り、次なる保育への思いはあるものの、十分に活かしているというにはまだまだである	C	保護者側には見えにくいかもしれないが、思いがあるものとして取り組んでいる。園の評価を向上させるためにも、具体的な取組を期待したい。
	4	豊かな心を育み、主体的に生活する子どもを目指し教育活動を行っている。	B	子どもたちの主体性を引き出し、自ら活動できる体制をとっている	A	子どもを主体的に育てる体制を整えたり、園行事を振り返り、子ども一人一人の成長を促していると感じている。
	5	保育者は、個々の成長に向け、楽しんですごせるよう工夫した保育を行っている。	C	個々の成長に添うべく努力はしているが、保育者はその難しさを感じている	B	保育者は難しさを感じながらも、子ども一人一人の成長を促していると感じている。

領域	NO	評価項目	自己評価	自己評価についての園の説明	関係者評価	関係者評価について意見及び説明
教育・保育	6	子どもは、安定した気持ちで生活し、園生活を楽しんでいる。	B	楽しそうに遊ぶ姿からそう判断	A	日常園児の様子を拝見しているところから、大半以上で満足できていると評価したい。
	7	子どもは、自身の興味関心に即した遊びを楽しみ、深い学びを得ている。	B	できればそのようにと思うが、保育者としては判断しかねる	A	我が子の得意分野や自分で得意なところを見て、その園児の得意分野の成果が、ある中で、子どもの下で、十分に成長できていると評価したい。
資質の向上	1	保育者の指導力向上に計画的・組織的に取り組んでいる。	C	取り組みはしているが、結果としては不十分と感じている	B	保育者の指導力は高いと思うが、研修を積み、2年程度も組織的に取り組んでいくべきだ。
	2	個々の保育者が資質向上のために研究に研鑽している。	C	全員とは言えないが、それぞれに研修の機会があれば参加しようとしている	B	研修の機会に恵まれている保育者もいるが、全員の保育者が研鑽できている工夫が、必要だと感じる。
	3	保育者の体罰や事故、個人情報漏洩等の不祥事根絶のために組織的に取り組んでいる。	C	職員会などを利用して、話し合いの場を持っているが、組織的にという程ではない	B	事故が起きて、いかに早く解決するか、組織的に取り組んでいると判断したい。2年程度は今年度以上の取組を期待したい。
教育環境	1	安全・安心で温かい教育環境整備に努めている。	C	安心して預けていただけるよう努めているものの、達成しているとまでは言いにくい	B	十分に安心に預けられた子ども園の、子ども保育者アンケートの結果も明らかである。

領域	NO	評価項目	自己評価	自己評価についての園の説明	関係者評価	関係者評価について意見及び説明
教育環境	2	事故防止のためのガイドラインを遵守し、ヒヤリハットをはじめ事故防止を最優先に考慮した取り組みをしている。	B	提出された事故報告書などから、振り返りながら再発の防止に取り組んでいる	B	大きな事故が起っていないから から事故防止への取組は 評価していると評価した
	3	特別支援教育体制をするために、他機関と連携をとりながら、個別の計画に即した保育を展開している。	A	必要な機関と連携をとりながら、こどもの発達に応じた計画の 基 も と 、保育を行っている	A	関係機関と連携を行い 十分に保育を行っている 感じているため、十分に 評価した
家庭・地域との連携	1	開かれた園造りを目指し、家庭・地域社会に積極的に情報提供を行っている。	C	積極的に取り組んではいるが、まだまだと感じている	B	地域への叔木や公共交通機関の 利用を、徒歩・自転車等 地域の園児への情報は 提供している評価した
	2	家庭・地域社会と連携、協力し、より安全で豊かな教育活動を目指している。	C	積極的に取り組んではいるが、まだまだと感じている	B	同上
	3	保・幼・小連携教育の視点に立った教育活動を推進するために、幼・小学校との連携を図っている。	C	連携の体制は整っているものの、実行に至っていないことなどがあり課題と捉えている	C	次年度は無理な範囲での 連携を希望したい
	4	保護者と、子どもの育ちを共有するために保護者の実状に相応しい子育て支援のあり方を追求している。	C	積極的に取り組んではいるが、まだまだと感じている	B	保護者側としては子育て支援に ついての相談にも対応して いると感じていると 評価した